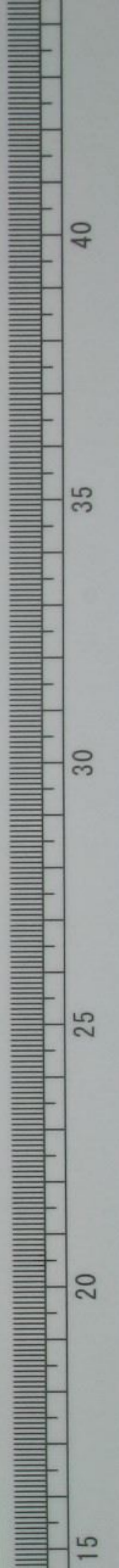




羅馬人狀



洋学文庫
文庫8
D 408



文庫8
D 408



羅馬人款狀

嚮余讀白石源公所著采覽異言見
文廟時羅馬天主教客游說吾邦以為奇
事之歲在邑曝藩府藏書偶獲長崎鎮府所
錄清人及蠻船傳說三十許卷表曰華夷變
態中有府官所劾羅馬客及吾人連其事者
款狀一節益詳異言所記竟抄附之源公記
以弘異聞云



010190618043

41-7322

安永戊戌春

嶋原佐章 識



邏媽人歎状

異人トトヨク

- 一「イタリヤ國の内ロウ」此者、テロウ名ハ「ヨウバツ」トイスタシロウトト申シ、年四十を、テ羅母トシ
- 一私後ロウニ切支丹宗門ト師仕ハ出家シ、テ在リ
- 一私國元ニ母存命、テ拵トシ、テ是身、テ是地、テ私向、テの、テ家
- 一私後ロウニ切支丹宗門ト總司「ホント」ヘキス、テキ、テモス、トト者、テ年、テ以、テ前、テト、テ付、テ日、テ中、テ切支丹の、テ位

銭部めは為渡海はは娘よとト渡りて有内日本
と云智ハ三年以前七月上旬より口ウニ銭出トハ
たきおれ目の本家「トウニステトル」トト有
一人是ハ惣司をせ下名え唐小京、きトハ私
一回ヨロウニと出ればハ「カレイ」トト小船二艘ヲ私
よてヤ子ツトト持テ寄セ夫らリ「カナリヤトト」
ト集りて而を利「フランス」國の大船二艘ヲ私共
同門の者そ人宛寄リ銀水主四十人餘程宛京呂
宋ト集りては度々一回門の者一人ト唐國小京ト

集りトハ私渡り日本ハ心とト集りトハ交屋久積
日島屋はは身一人陪ト上トト
一 船中木拂座、坐ハ身おし伴寄、奥室ハ私銭及金
の取瑞舟ト七八人集り水銭のしとトト取を
トハ船先寄入下下陪の方、博リトハ身進取不
トハ
一 船後座久積、上トトハは日本人家、ト集りトハ
トハ身日人一人、船中を長とある段ハ金子銭を出
トハ身為價をハの先子進取座トハと私しては

一 新設日本、此の如き事ありしより又日本を以て改め
我々の又の日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより

右の如き事ありしより、又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより

答は由り、此の如き事ありしより、又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより
又日本を以て改め、此の如き事ありしより

子十一月

カビタシ ヤスフルパン、ミレスナアル

アクデレヤンドウ

通車目録

通詞

英國人取而持は大儀に因縁色に是

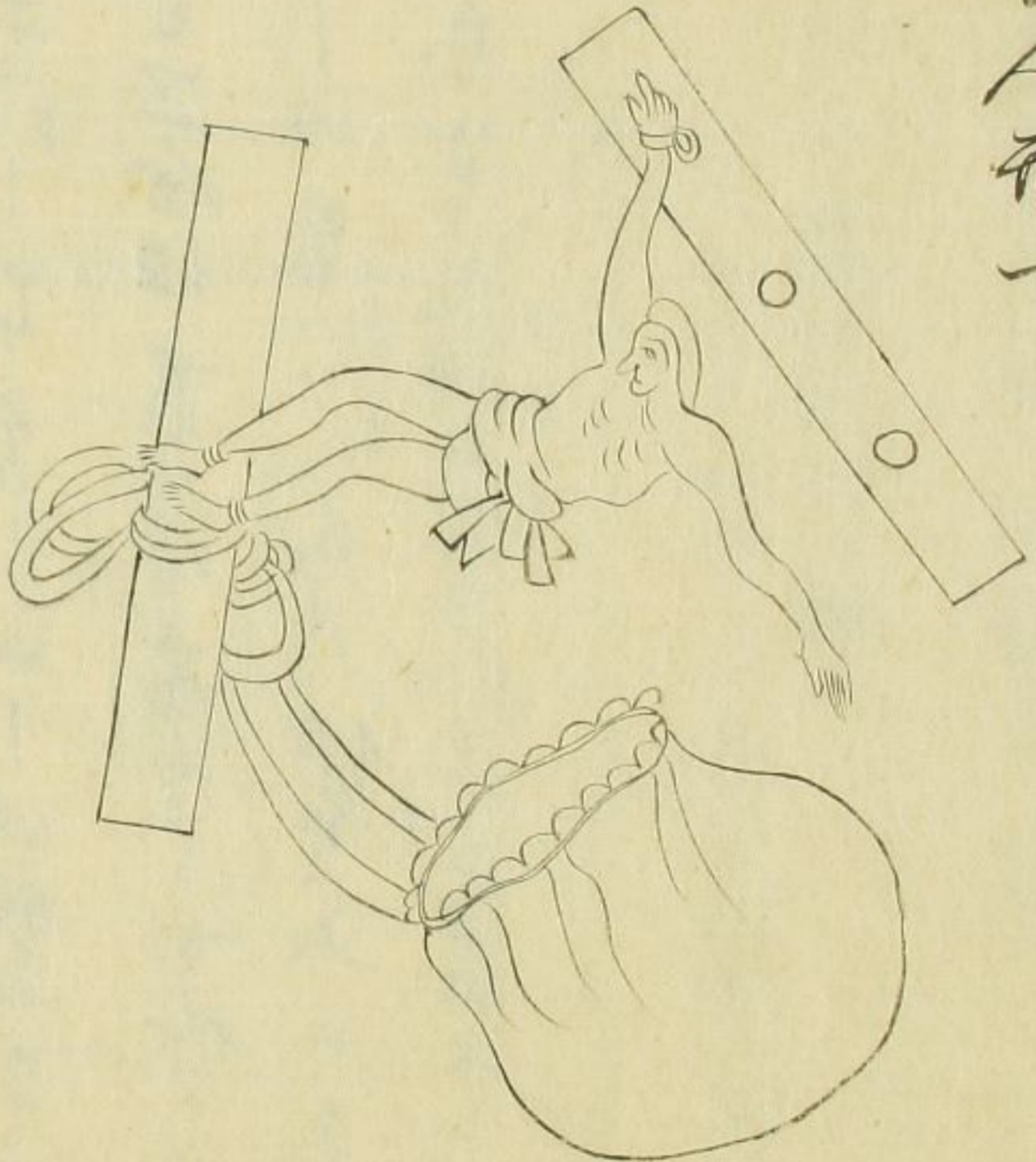
一室角ありびんころ院の箱なる物

「此はきねして外張りの箱の御蔵の物なり」



一異國人にお尋ねの如「さんたまりや」
中宗門に七なるゆりの燈をそと
横一寸五分ほど表の階ありかぬのそと
お尋ねの系さんありはた入のまじり
よき御座る箱なる物なりをいふ有
てい

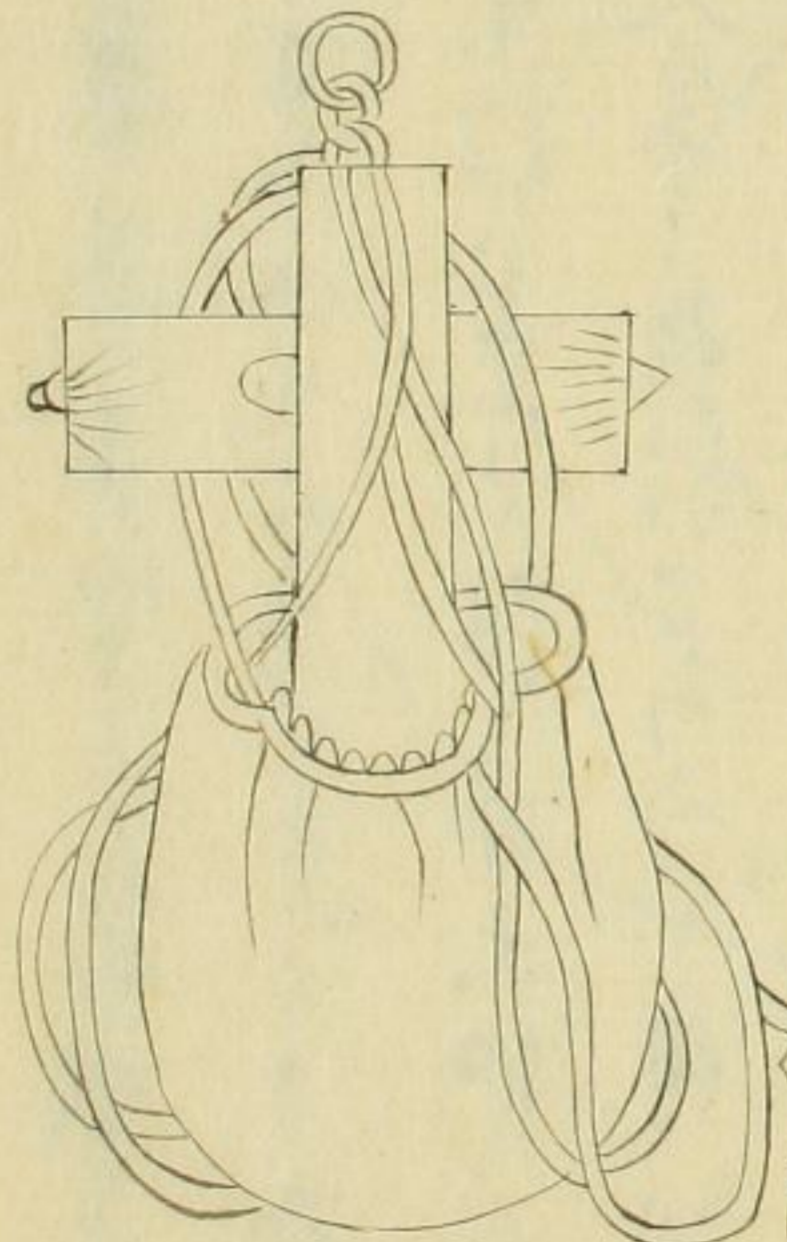
一 銅之振込人形一



異國人にお尋ねの処人形「急ぎきりり」

丁字中宗門に本号の分は英 侍名ハ「まゝい
 古き阿礼屋に中物に此の以人形英二平
 加ぬ言に加うぬて振込金に侍名の古中合
 入に振込のきれい〜に庄の

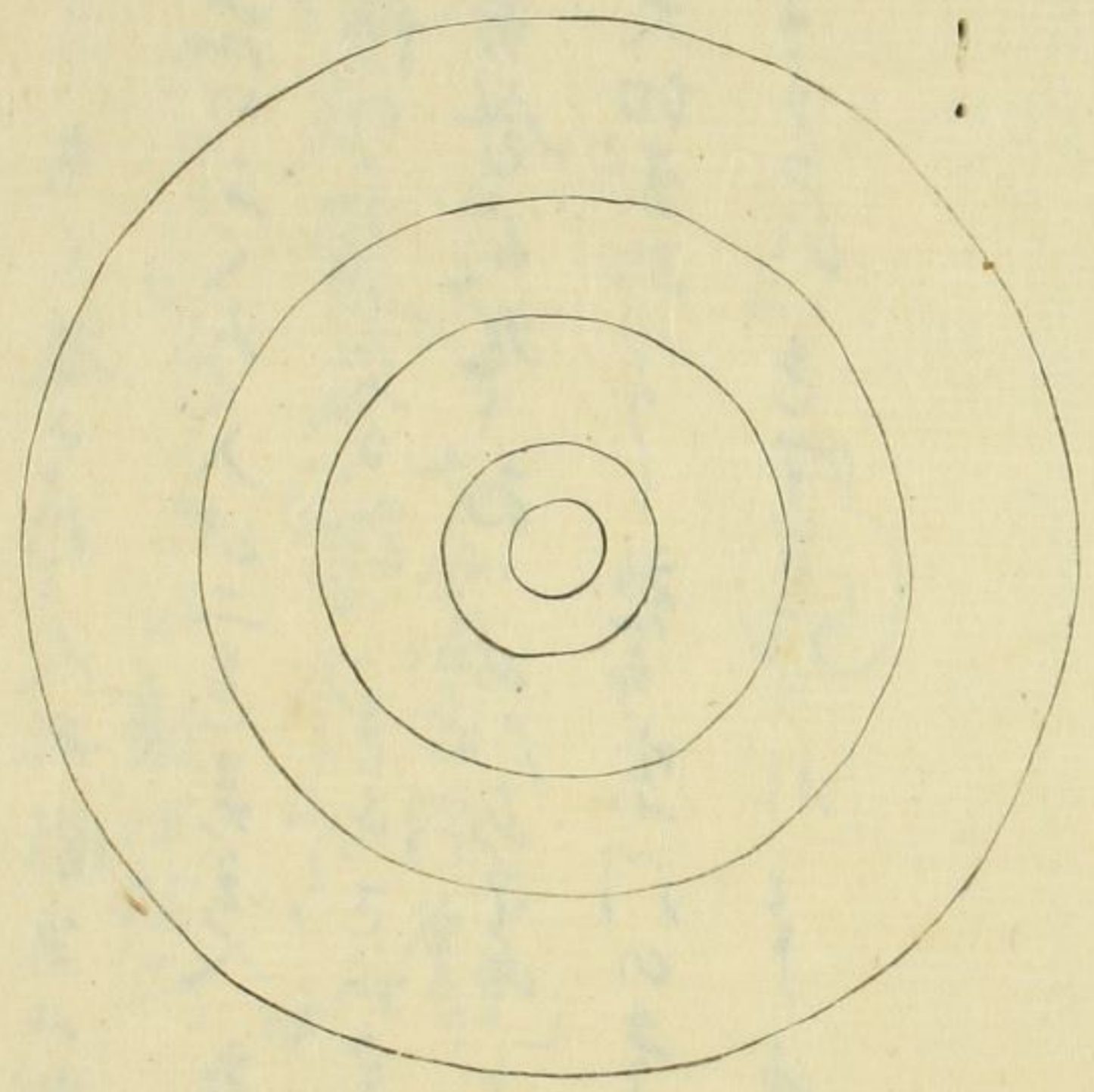
此
 此の人の名
 ちうて振込
 金に



一 硝子振込十文字物に他侍名在

異國人にお尋ねの如く「くわんのくわんくわん
と
お尋ねからいふものも「くわんくわん」の中にお尋ね
は十文字宗門の上へ結ぶ外大切のもの
の中は十文字の中へおびいさうふく角に
は内へ仙へ松葉形は亀玉の松におみよるは
金へさうかぬる角にさうおさるへ細き
細針の袋は針玉の中へおへ細に金物さう
針玉の

一金の鏡は松葉お尋ね但表限筆袋に入



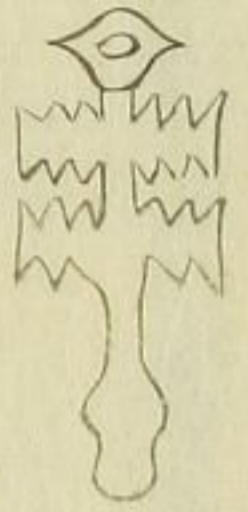
は六寸四分四方表金へさうかぬる

正しく振る物但赤草袋に入有るは金
 こそ丸く振る月人形彫刻の物四十二
 太のふらり入は二色是金人お尋は知
 院のよゝある物「まはさるるま」とお
 兼合る丸きあは「めだあまや」とは是又
 大切玉のよゝお尋宗門のまきあは何
 りよらん「まはさるるれ」とは中りは



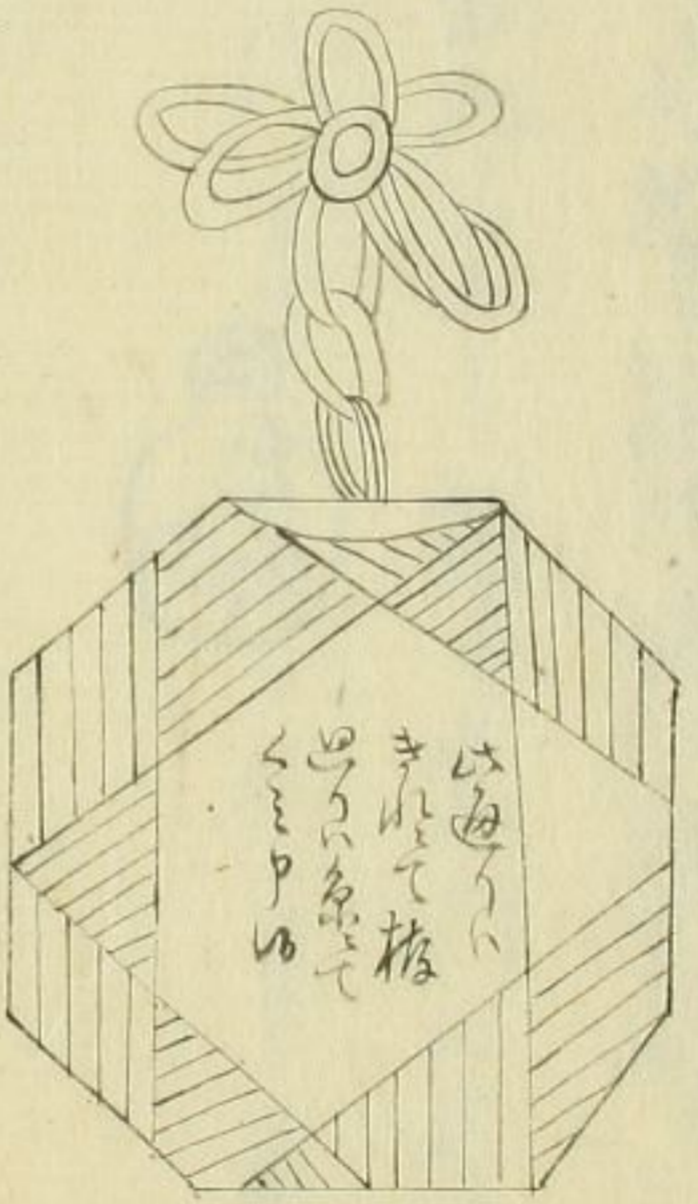
金ふく大サ七分四方程厚サ五リ
 程宛有る何は金ふく申し繪指
 いかゞかきりしは教は指二

一鎮ちうて振るかあめの指成物二



異國人にお尋ねの如く「ちんぱん」の如くお尋ねの如く

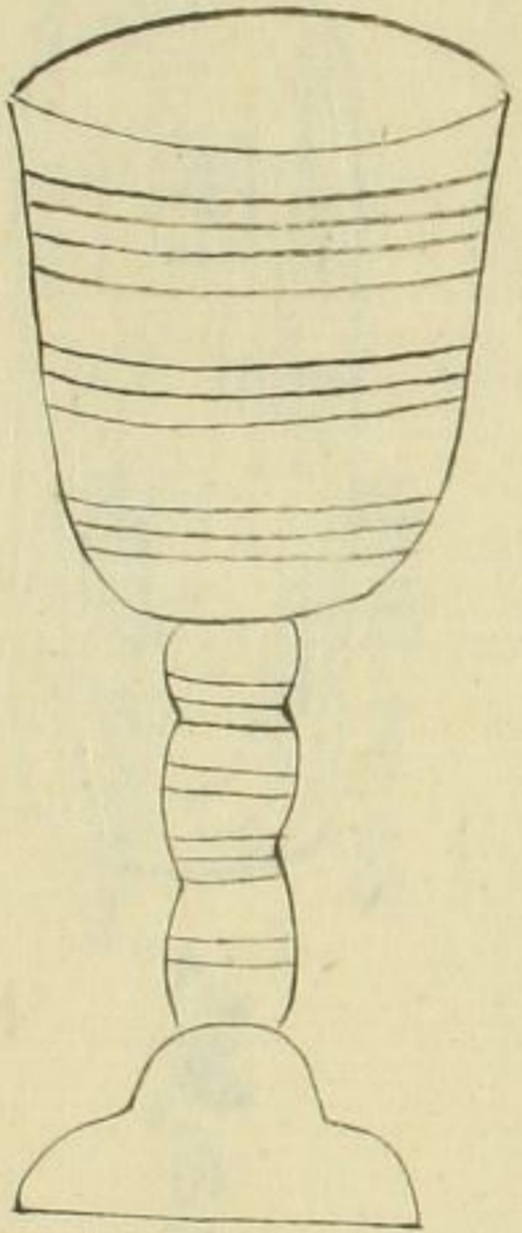
一守袋の根、振細流るゑ有「お」一但中、横之字、出おえ



異國人にお尋ねの如く「ちんぱん」の如くお尋ねの如く

「中」の中、ちんぱんの中、お尋ねの如く
「ちんぱん」の中、お尋ねの如く

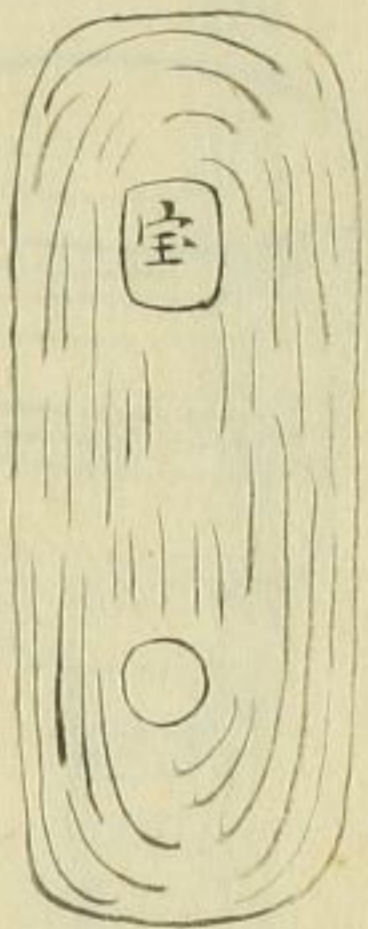
一限る如く「お」振足と付の如く



異國人にお尋ねの如く「ちんぱん」の如く
「ちんぱん」の中、お尋ねの如く

金のくろく二把入金の

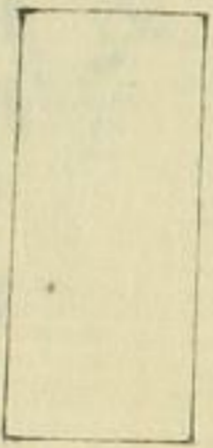
一呂宋を多額の金を



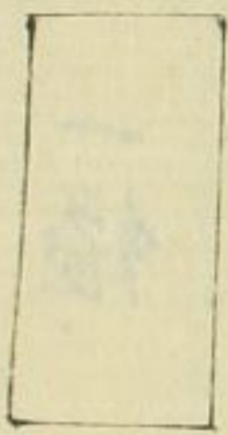
は減目九拾八匁

は通りは金銀を極く細くしはりのむら
方の本目も甘く文字の極く極平二所
有は水は極く足らけか

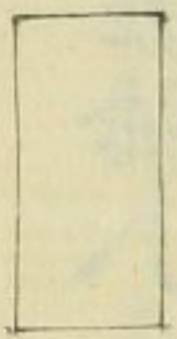
一同極金は極く金 大小百八十一



減目之五七分余



減目之五余



減目之五余

は金大小合百八十枚減目減金三百八十匁

一同小キ九金百六十粒

但粒大小有之 丸菜之粒は一寸の金目
 不同有之 二分三分四分粒宛り粒は百六
 十粒懸掛目五十五を以

一日本小粒拾八但新倉

一踐 一鑑

但寛永日本踏七十六文 康熙唐踐三拾
 文

右四文字集うちい袋に入有之

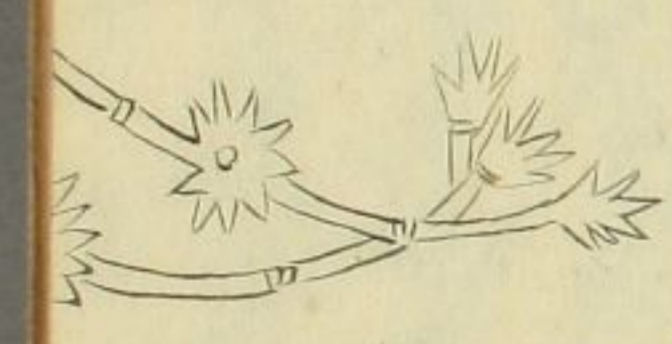
一狭之原判を

表印之方



裏印之方

一草繩を板倉物を入るは物也



如草繩を三人が
 板取、結目有し
 右のように入ると
 かちの錢の印



異國人にお尋ね知てお入りし事と申
 悪念起りし時より縄を以て身と申
 痛しと申す也

以別紙申入

一先達申すに、八月五日松平藩に申入
 大隅國宮崎縣宮崎國人見おし、百姓長尾、無事
 出合し、申す所、五徳寺、五徳寺、去、二百餘
 戸、古方家、申す、経國、お深、遠、御、申、入、死、百
 八、逐、以、味、の、地、友、之、味、八月七日、意、位、村、松、下、と、申
 一、昭、景、燒、之、系、本、錢、代、申、入、死、別、人、力、と、指、申
 申、入、記、と、申、入、後、申、入、先、之、事、通、申、入、三
 一、怪、變、神、事、申、入、例、難、事、見、合、申、入、水、錢、申、入、件

石出取倉の如形取市之浦中より八月廿一日為徳楳
湯泊村の浦に石出の交陸三里程の一事あり
此浦より唐船の如き帆船多き船を渡り切居
此舟唐船の如き通寄不し等たり此法度法
此山百村の如き事度此浦の橋多き事吳國人
此舟より神の如き舟あり事近は舟多き事備
此舟百十箇計の如き舟大隈船の如き事立水線
此舟は形と改形舟の如き舟一舟舟水法度
此舟より舟あり事此舟と押切船舟村の

方は船取舟の如形船舟あり事此舟舟の如
此舟より舟あり事此舟舟の如

一右沖舟取舟の如き舟國人の如き舟舟舟の如
此舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如
舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如
舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如
舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如
舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如

一左舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如
舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如き舟舟舟の如

方より英國人の携りたる清紙を東京に運送し其紙を
五巻に分ち湯河沖に投じ其紙は魚人船に
寄る清紙水主の手に取られ清紙を
合十人より百九百に達し其紙は英國人の手に
少く相違なく其紙は清紙に
其紙は清紙の如く老九の字に
指し可なり其紙は清紙の如く
ト上は清紙

十月九日

弱水報紀後書判

別本極廉書判

永井澄波書版
貸入用紙極廉書版

以別紙ト入

一七二通券ト入の清紙は其紙は英國人の手に
送る清紙の如く老九の字に
其紙は清紙の如く老九の字に
其紙は清紙の如く老九の字に
其紙は清紙の如く老九の字に

府を以ておし裁はるるに首をくちりて水
をいり振るる一尺を以て水鏡をせしむるは
日本人三人系は系は人家(百)にありて
そのうち一人は名をいひて一子を以て名を
いひて指産の地を國人といふ

一又相習はるるを方口日本人のそと十月代となり日
本始ふと名しおきし日本人指し刀を指し
あつたのち指すたの指を改し指を名に
し初めを指す一物刀おもて指しはるる

若くはもと名をいひて風俗を指すは日本人とい
ひて一尺を以て名をいひて日本人のそと一物
本指の刀指しはるるに初めを指しはるる
日本人の指す初めをいひて風俗をいひ
て初めをいひて名をいひて初めをいひて
初めをいひて唐に風俗をいひて初めをいひて
國人をいひて

一又初めをいひて初めをいひて初めをいひて
初めをいひて初めをいひて初めをいひて

と百葉の類に合はれり日本より多立中國に
密に一海も路に合はれりお多立の類に
善いなる類も一類に善いなる海に合はれり
と節の善いなる一人の善いなる海に合はれり
お多立の善いなる類に合はれり日本
より多立の善いなる類に合はれり
善いなる

一又善いなる類に合はれり日本より多立中國に
密に一海も路に合はれりお多立の類に

善いなる類に合はれり日本より多立中國に
密に一海も路に合はれりお多立の類に
善いなる類も一類に善いなる海に合はれり
と節の善いなる一人の善いなる海に合はれり
お多立の善いなる類に合はれり日本
より多立の善いなる類に合はれり
善いなる

予の所一宗に對入予の屋久橋之水と天也
人家の事(會子)隨て母の所右の僧と
會子の事(會子)隨て母の所右の僧と
何れに何れに心も母の所右の僧と
しり

一又尋し一切支丹宗門に對り日本山中に對り禁
しむる所存知ありと其自ら一付の所隨て海に又右
の事けし存する事ある其宗人其宗の事日本に對り
一切支丹宗門に對り禁しむる所存知ありと其自ら一付の所隨て海に又右

存者(母)其宗の事日本に對り禁しむる所存知ありと其自ら一付の所隨て海に又右
就中其の相續の事(上)日本に對り禁しむる所存知ありと其自ら一付の所隨て海に又右
一宗に對り禁しむる所存知ありと其自ら一付の所隨て海に又右
其宗の事(會子)隨て母の所右の僧と

一是國人政(正)持(持)大(大)信(信)内(内)者(者)其(其)宗(宗)門(門)
其(其)宗(宗)門(門)其(其)宗(宗)門(門)其(其)宗(宗)門(門)其(其)宗(宗)門(門)
宗門(宗門)其(其)宗(宗)門(門)其(其)宗(宗)門(門)其(其)宗(宗)門(門)
其(其)宗(宗)門(門)其(其)宗(宗)門(門)其(其)宗(宗)門(門)其(其)宗(宗)門(門)

七〇三九
イヨ